

社会福祉法人真庭市社会福祉協議会

平成 29 年度事業報告書

(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 平成 30 年 3 月 31 日



真庭市社協マスコットキャラクター 「社協のきょうちゃん」

社会福祉法人真庭市社会福祉協議会

理念

1 基本理念

すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。

2 経営理念

- 住民主体の地域福祉を推進します。
- 適切で質の高いサービスを提供します。
- 経営体質を強化し、人財を育成します。

3 行動マインド

- 理想と誇りを持って地域福祉を進めます。
- 利用者本位で心のこもったサービスを提供します。
- 法令を遵守し、高い倫理観を持って行動します。
- 組織目標を共有し、経営能力を高めます。
- 職員としての一体感を高め、相互に協力します。

I 事業概要

少子高齢、人口減少社会の進行などにより、地域社会や家庭の様相は大きく変容し、子育てや介護、社会的孤立の問題、貧困や権利擁護の問題等、地域における生活課題は多様化し、世帯に1つではなく、多様な問題を重複して抱えるものとなっています。

このような状況の中、本会の基本理念「すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現」を目指し、経営理念、行動マインドを実現するため各事業に取り組んで参りました。

本年度からの基本計画である「第3次地域福祉活動計画」を基に事業を推進しました。

小地域福祉活動の推進については、「アウトリーチ活動」、「地域助けあい事業」に重点を置き地区社協活動の推進、福祉委員の役割の理解・活動支援他、地域福祉の充実を図りました。

介護事業については、質の高いサービス提供と経営体質改善を目指し業務改善に取り組みました。しかし、職員の人材確保は厳しく大きな課題となっています。

経営体質改善として、中期経営計画を推進し、自主財源の確保に努め、市民から寄せられた社協会費や善意の寄付金、共同募金の活用について、善意銀行運営委員会や基金運営委員会等で協議して有効活用を図りました。

職員の資質向上については、本会の経営方針のもと、職員が年間の各部門計画・個人目標を掲げて業務にあたることにより、組織の目標達成に向けた体制づくり、人材育成に取り組みました。

以下、分野ごとに事業内容を報告します。

II 重点事業

真庭市社会福祉協議会の理念に基づき、すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざして、質の高い福祉サービスの提供と、住民主体の地域福祉を推進するため、平成 29 年度は、次の事業に重点をおき実施しました。

1 社会福祉事業会計

(1) 真庭市との連携

【目標】

地域福祉の推進及び個別具体的に必要な福祉事業の提供のため、職員及び事業用資産の確保に資する真庭市の支援を得ながら、専門性の向上とともにさらなる地域福祉活動の活性化と、真庭市福祉行政及び施策への参加・協力を行っていきます。また、真庭市内の介護保険サービスの提供体制の確保のために介護保険サービス提供事業者としての充実を図り、障がい者総合支援サービスや新総合事業などの真庭市事業の受託による福祉サービスの提供に努めていきます。

さらに、真庭市へ真庭市社会福祉協議会の実施事業に対する理解を得る働きかけと、真庭市との協議・連携により、地域福祉推進に向けた体制の整備を図っていきます。

【実績】

事業推進のための、人員の財源確保や事業推進について協議を重ねました。

また、真庭市と情報共有連携を深めるため、健康福祉部各課と連絡会議を開催しました。

(2) 第 3 次地域福祉活動計画（平成 29 年度～33 年度）の推進

【目標】

平成 28 年度策定の第 3 次地域福祉活動計画（平成 29 年度～平成 33 年度）に基づき、各種地域福祉事業を推進します。

【実績】

第 3 次地域福祉活動計画に基づき各種地域福祉事業を推進しました。特に、福祉委員活動の活性化や子育て支援事業、法人後見事業の実施等を行いました。

(3) 中期経営計画の推進

【目標】

中期経営計画に基づき、限られた財源の中で効率的・効果的な事業を行い、持続可能な経営基盤の確立に向け、組織としてさらなる経営改善に取り組みます。

【実績】

中期経営計画を推進するため、事務経費の節減と事業効率アップを検討しながら事業推進をしました。

(4) 地域助けあい事業の推進

【目標】

地域住民と連携した見守り活動や福祉課題の早期発見のため、全地区社協で年 2 回助けあい会議を開催します。

助けあいマップの作成を通して、要援護世帯を把握し、住民による見守り活動の実施や福祉活動専門員による積極的な「アウトリーチ活動」を行い、関係機関と連携し困りごと

を抱えた方へ適切な支援を行います。

【実績】

地域助けあい事業推進に向け、支援が必要な方の把握や情報共有を行う助けあい会議を全 34 地区社協で延べ 62 回開催しました。

助けあいマップの作成を通して見守り体制の整備を図り、地域の中で援助や支援を必要とする人々の福祉課題の早期発見に向け、地区社協による見守り活動や福祉活動専門員による「アウトリーチ活動」を行い、適切な支援につなげました。

(5) 部署間連携の強化

【目標】

真庭市社会福祉協議会の各部署間の事業連携・情報共有を徹底し、オール真庭市社協で地域福祉を推進するため、職員の一体感の醸成にさらに取り組みます。

【実績】

職員研修会と毎月の支所長・施設長会議、事業所会議をとおして連携強化や情報の共有を図り事業推進しました。次年度も継続して取り組みます。

Ⅲ 事業実施項目

1 法人運営

(1) 組織運営

【目標】

地域福祉推進体制の充実及び各種事業のサービス提供体制の充実を目指します。
また、職員の専門性の向上を図るため、研修体制の充実に取り組みます。

① 理事会

【目標】

開催目標 7 回(平成 28 年度実績 5 回)

役員研修会の実施、責任体制の明確化、委員会組織の活性化

【実績】

●第 1 回理事会

日 時 平成 29 年 5 月 24 日(水)13 : 30～

場 所 久世公民館

出席者 理事 12 名・監事 2 名 事務局長他

協議事項 平成 28 年度事業報告、会計決算、監査報告について
定時評議員会に諮る役員候補者について他

●第 2 回理事会

日 時 平成 29 年 6 月 14 日(水)16 : 00～

場 所 久世公民館

出席者 理事 13 名・監事 2 名 事務局長他

協議事項 会長及び副会長の選任について
理事会・委員会の構成について他

●第3回理事会

日 時 平成29年9月11日(月)14:00～
場 所 久世公民館
出席者 理事10名・監事1名 事務局長他
協議事項 評議員選任・解任委員の選任について
規程の一部改正について
平成29年度第1次補正予算について他

●第4回理事会

日 時 平成30年1月30日(火)13:30～
場 所 久世公民館
出席者 理事13名・監事2名 事務局長他
協議事項 地域福祉活動団体助成金交付要綱の一部改正について
平成29年度事業状況について他

●第5回理事会

日 時 平成30年3月20日(火)13:50～
場 所 久世公民館
出席者 理事11名・監事2名 事務局長他
協議事項 平成29年度第2次補正予算について
平成30年度事業計画(案)、当初予算(案)について他

② 監事会 (監査)

【目標】

開催目標3回
役員研修会の実施

【実績】

監事監査3回 内部監査1回

●平成28年度決算監査

日 時 平成29年5月12日(金)9:30～
場 所 久世保健福祉会館 社協会長室
内 容 平成28年度事業及び一般会計・特別会計・財産目録の監査
出席者 監事 浜子 尊行、大美 康雄

●平成29年度随時監査(第1回)

日 時 平成29年11月15日(水)9:30～
場 所 久世保健福祉会館 社協会長室
内 容 平成29年4月～9月末までの監査他
出席者 監事 西谷 友行、大美 康雄

●平成29年度随時監査(第2回)

日 時 平成30年2月27日(火)9:30～
場 所 久世保健福祉会館 社協会長室

内 容 平成 29 年 10 月～12 月末までの監査他
出席者 監事 西谷 友行、大美 康雄

●平成 29 年度内部監査

日 時 平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月
場 所 本所・全支所
内 容 小口現金、各種団体会計、支所施設預金通帳、共同募金通帳、
歳末たすけあい通帳、日常生活自立支援事業保管品、
やすらぎ入所者保管品、金庫内保管品等の内部監査
実施者 事務局長、佐藤参事

③ 評議員会

【目標】

開催目標 5 回(平成 28 年度実績 5 回)
研修会の実施

【実績】

●第 1 回評議員会

日 時 平成 29 年 6 月 14 日(水)13:30～
場 所 久世公民館
出席者 評議員 15 名 会長・副会長・監事・事務局長他
協議事項 理事並びに監事の選任について
平成 28 年度事業報告、会計決算、監査報告について他

●第 2 回評議員会

日 時 平成 29 年 10 月 3 日(火)13:30～
場 所 久世公民館
出席者 評議員 17 名 会長・副会長・事務局長他
協議事項 規程の一部改正について
平成 29 年度第 1 次補正予算について他

●第 3 回評議員会

日 時 平成 30 年 3 月 28 日(水)13:30～
場 所 久世公民館
出席者 評議員 17 名 会長・副会長・事務局長他
協議事項 平成 29 年度第 2 次補正予算について
平成 30 年度事業計画(案)、当初予算(案)について他

④ 業績検討会

【目標】

役職員による介護事業及び地域福祉事業の業績検討会を実施します。

【実績】

三役会で業績検討の実施

三役会議 (久世保健福祉会館)

第1回 平成29年 5月16日(火) 第2回 平成29年 7月24日(月)

第3回 平成29年 9月 7日(木) 第4回 平成29年11月30日(木)

第5回 平成30年 3月 7日(水)

⑤ 人材育成を目的とした人事評価制度の実施

【目標】

真庭市社会福祉協議会の理念と、行動マインドの実践や職員の経営参画意識を高めるため、各部門計画・個人目標を掲げ業務にあたることにより、目標達成に向けた意識の向上を図り、人材の育成を目的に人事評価を実施します。

【実績】

各部門目標、個人目標を設定して業務にあたり、特にフィードバック面接を丁寧に実施する等、人材育成に取り組みました。

⑥ 財務管理委員会

第1回 平成29年11月27日(月) 久世公民館

協議事項 地域福祉活動団体助成要綱検討他

第2回 平成30年 3月 1日(木) 久世公民館

協議事項 平成30年度地域福祉活動団体助成審査他

⑦ 基金運営委員会

地域福祉活動基金は、多様化する住民の福祉ニーズに対し、福祉事業の安定的な発展を図ることを目的として設置され、地域福祉活動基金設置運営規程第4条第2項の規定により本委員会において適正に運営を行いました。

第1回 平成30年3月20日(火) 久世公民館

協議事項 平成30年度基金利息予算額と事業計画他

⑧ 善意銀行運営委員会

広く人々の善意の預託を受け、これを効果的に社会に還元し、もって福祉の増進を図ることを目的とする善意銀行の適正な運営のため、運営に関する事項を協議しました。

第1回 平成30年3月20日(火) 久世公民館

協議事項 平成30年度予算額と事業計画他

⑨ 試験委員会

正職員採用試験において、公平・公正の確保、客観的な評価、適正な人材の採用等のため本委員会を開催しました。

第1回 平成29年10月15日(日) 久世公民館 正職員採用筆記試験選考

第2回 平成29年10月31日(火) 久世保健福祉会館 正職員採用選考

第3回 平成29年11月 5日(日) 久世公民館 正職員採用面接試験選考

第4回 平成30年 2月17日(土) 久世公民館 正職員採用筆記試験選考

第5回 平成30年 3月 1日(木) 久世保健福祉会館 正職員採用選考

⑩ 給与見直し委員会

現行の給与規程について、運用上の課題を整理し、公正・適正な処遇となるよう協議を進めました。平成30年度も協議を継続して行きます。

第1回 平成30年 1月30日(火) 久世公民館

第2回 平成30年 2月 8日(木) 久世公民館

第3回 平成30年 2月23日(金) 久世公民館

第4回 平成30年 3月14日(水) 久世公民館

⑪ 表彰審査会

多年にわたり地域福祉の向上に携わり、その功績が顕著な者及び団体に対して本会会長から表彰状又は感謝状及び記念品を贈呈するにあたり、本会表彰規程に基づき、公平・公正な審査により被表彰者の選考を行い、会長に答申しました。

第1回 平成29年10月31日(火) 久世保健福祉会館 会長表彰審査

⑫ 地域密着型介護老人福祉施設 やすらぎ運営推進会議

やすらぎ運営推進会議は、地域密着型介護老人福祉施設やすらぎでの施設サービスを地域住民に報告し、意見、要望、助言等を受け、施設運営に反映させ、利用者の生活の向上を図ることを目的としています。このために、利用者、利用者の家族、真庭市職員、地域福祉推進委員、地域住民の代表者等と2か月毎に開催しました。

第1回 平成29年 5月10日(水) 湯原保健福祉センター

第2回 平成29年 7月12日(水) 湯原保健福祉センター

第3回 平成29年 9月13日(水) 湯原保健福祉センター

第4回 平成29年11月 8日(水) 湯原保健福祉センター

第5回 平成30年 1月10日(水) 湯原保健福祉センター

第6回 平成30年 3月14日(水) 湯原保健福祉センター

⑬ 地域密着型通所介護事業所運営推進会議

地域住民の意見、要望、助言等を受け、事業運営に反映させ、利用者の生活の向上を図ることを目的としています。委員会は、年2回開催しました。

第1回 平成29年 5月10日(水) 湯原保健福祉センター

第2回 平成29年11月 8日(水) 湯原保健福祉センター

⑭ 社会福祉大会実行委員会

第1回 平成29年 8月30日(水) 久世公民館

第2回 平成29年10月 4日(水) 久世公民館

第3回 平成29年11月 7日(火) 久世公民館

⑮ 研修会

ア 役員・評議員・職員研修会

日時 平成29年 7月30日(日) 10:00～

場所 久世公民館

71人参加

内容・「今、社会福祉協議会に求められていること」

講師 美作大学生活科学部社会福祉学科 教授 小坂田 稔 氏

・「真庭市社会福祉協議会の事業について」各担当者より説明しました。

イ 人事管理制度研修会

日時 平成 29 年 9 月 15 日(金) 18:30～

63 人参加

場所 勝山保健福祉センター

内容 (1) 人事管理を取り巻く環境と人事制度の意義

(2) 目標管理の注意点について

(3) 考え方が変われば結果が変わる

(4) 知識人としてのコンピテンシー自己点検

講師 (株)経営開発センター 代表取締役社長 野崎悦雄氏

ウ 交通安全講習会

日時 平成 29 年 10 月 19 日(火) 18:00～ 落合老人福祉センター

52 人参加

場所 平成 28 年 10 月 20 日(木) 18:00～ 湯原保健福祉センター

45 人参加

内容 「交通事故防止について」

講師 真庭警察署 妹尾宣明交通第一係長他

エ 人事評価者研修会

日時 平成 29 年 12 月 11 日(月) 18:30～

20 人参加

場所 久世保健福祉会館

内容 (1) 評価者としての必要となる基本的考え方

(2) 人事評価ケーススタディ

(3) 面接の進め方とポイント

講師 (株)経営開発センター 代表取締役社長 野崎悦雄氏

(2) 財務運営

【目標】

中期経営計画の実施と、真庭市の財政支援の確保を図り、福祉事業の財源となる社協会費、善意寄付、各種募金の増強や、外部資金の確保に取り組み、介護事業所の効率的運営による事業収支の改善を図ることで、真庭市社会福祉協議会の財務基盤の強化を目指しました。

【実績】

① 自主財源の増強 社協会費、善意寄付金収入、共同募金収入、収益事業収入

ア 社協会費 会費実績額 14,279,700円〔一般11,505,700円 特別2,774,000円〕
 (前年対比 △86,000円 一般 △118,000円 特別 32,000円)

本支所名	一般会費	特別会費	合計
本所(久世)	2,375,000円	669,000円	3,044,000円(31,500円)
北房支所	1,491,000円	427,000円	1,918,000円(△28,000円)
落合支所	3,247,000円	648,000円	3,895,000円(△60,500円)
勝山支所	1,873,700円	399,000円	2,272,700円(△47,000円)
美甘支所	391,000円	40,000円	431,000円(△6,000円)
湯原支所	811,000円	258,000円	1,069,000円(△7,000円)
中和支所	161,000円	28,000円	189,000円(△14,000円)
八束支所	631,000円	220,000円	851,000円(20,000円)
川上支所	525,000円	85,000円	610,000円(25,000円)
計	11,505,700円	2,774,000円	14,279,700円(△86,000円)

イ 善意寄付金収入 実績額 692件(△16件)10,574,631円(△193,488円)

本支所名	件数	金額
本所(久世)	149(△4)	2,231,000円(△150,336円)
北房支所	127(18)	2,058,000円(442,000円)
落合支所	143(△19)	2,136,000円(27,535円)
勝山支所	107(△1)	1,339,052円(65,402円)
美甘支所	32(△6)	648,000円(127,029円)
湯原支所	56(9)	894,000円(65,000円)
中和支所	9(△3)	172,579円(△140,542円)
八束支所	40(△15)	616,000円(△554,000円)
川上支所	29(5)	480,000円(△75,576円)
合計	692(△16)	10,574,631円(△193,488円)

ウ 赤い羽根共同募金実績額 6,122,441円(前年対比 △56,344円)

歳末たすけあい募金実績額 3,125,225円(前年対比 △117,304円)

本支所名	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金	合計
本所(久世)	1,497,145円	690,300円	2,187,445円(146,826円)
北房支所	816,229円	437,500円	1,253,729円(△45,809円)
落合支所	1,377,279円	756,000円	2,133,279円(△120,549円)
勝山支所	1,110,242円	560,000円	1,670,242円(△39,178円)
美甘支所	204,537円	110,200円	314,737円(△16,208円)
湯原支所	418,896円	212,300円	631,196円(△3,057円)
中和支所	53,325円	28,700円	82,025円(△50,930円)
八束支所	385,084円	195,700円	580,784円(△10,844円)
川上支所	259,704円	134,525円	394,229円(△33,899円)
合計	6,122,441円	3,125,225円	9,247,666円(△173,648円)

② 真庭市の負担金及び補助金の確保

【目標】

負担金 43,320 千円、補助金 35,821 千円、負担金補助金合計 79,141 千円を確保します。

【実績】

真庭市補助金等〈()は前年度対比〉	合計 79,141,000 円(△2,000,000 円)
a 負担金 (福祉活動専門員の人件費)	計 43,320,000 円(0 円)
(a) 福祉活動専門員設置負担金	32,220,000 円(0 円)
(b) 福祉団体活動負担金	7,830,000 円(0 円)
(c) 日常生活自立支援事業の職員人件費	3,270,000 円(0 円)
b 補助金	計 35,821,000 円(△2,000,000 円)
(a) 福祉活動専門員以外の職員人件費	33,821,000 円(0 円)
(b) 介護保険運営補助	2,000,000 円(△2,000,000 円)

③ 介護保険関係事業の経営改革

【目標】

サービス区分ごとの経営管理体制の強化による経営の安定化を図ります。

【実績】

財務体質改善に向け、各事業所管理者・サービス提供責任者等で、協議検討し、サービスの質の向上や業務改善に取り組みました。

(3) 指定管理事業

【目標】

指定管理業務においては、適正な管理運営に努めます。また、湯原保健福祉センターについては、介護保険サービス事業の経営の安定化を図ることに努めます。

蒜山地域の指定管理施設については、契約最終年となるため次期指定管理事業に向けての協議、検討を進めます。

【実績】

指定管理料	合計 41,648,000 円 前年度対比(1,568,000 円)
ア 湯原保健福祉センター管理料	27,988,000 円(指定期間 平成 27～31 年度)
イ 中和デイサービスセンター管理料	2,281,000 円(指定期間 平成 27～29 年度)
ウ 八束老人福祉センター管理料	3,360,000 円(指定期間 平成 27～29 年度)
エ 川上保健センター他 2 施設管理料	8,019,000 円(指定期間 平成 27～29 年度)

2 地域福祉事業

(1) 住民参加活動の推進

① 小地域福祉活動の推進

地域住民が主役となって活動に参加し、地域づくりを進める中で「地域の福祉力」を高め、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをします。

ア 地区社協組織の活性化

【目標】

「地域助けあい事業」の推進を図るとともに、地域での見守り体制の整備に向け社協職員が積極的にかかわり、住民主体の活動提案や支援を行います。座談会等の開催（開催目標 地区社協ごとに年1回以上）地域助けあい会議（年2回）の開催と助けあいマップ作成による地域での見守り体制の整備及び困りごとを抱えた人への支援。

【実績】

「地域助けあい事業」の推進に向けて、支援が必要な方の把握や情報共有を行う「助けあい会議」を全地区社協で開催し、助けあいマップを通して、見守り体制の整備や困りごとを抱えた方への支援を行いました。

地区社協活動の指標を基に、福祉活動専門員が地区社協へ積極的に関わりました。各地区社協単位に市内で62回助けあい会議を開催しました。

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
地区社協数	5	7	9	5	1	4	1	1	1
助けあい会議開催数	10	14	15	9	2	6	2	2	2
地区社協による定期的な見守りが必要な世帯	86	234	147	152	53	129	51	12	77
社協職員と専門職の訪問が必要な世帯	5	9	9	12	3	3	0	3	3
助けあい事業のサービスを勧めたい世帯	3	27	10	25	0	12	3	0	3
地域での見守り件数	275	1,179	1,064	819	304	1,746	468	144	396

地区社協助成金の交付

市内地区社協 34 地区(前年度対比 2)活動助成金 7,804,782 円(前年対比 192,332 円)

○北房支所(5 地区)

- ・中津井せんだんの会福祉部 助成額 236,850 円
- ・皆部地区社協 助成額 250,500 円
- ・阿口竜王会 助成額 65,200 円
- ・上水田地区社協 助成額 301,250 円
- ・水田むらづくりの会 助成額 274,300 円

○落合支所(7 地区)

- ・落合地区社会福祉協議会 助成額 400,657 円
- ・天津地区社会福祉協議会 助成額 294,950 円
- ・津田地区むらづくり推進委員会 助成額 176,775 円
- ・木山地区社会福祉協議会 助成額 301,600 円
- ・美川地区社会福祉協議会 助成額 288,300 円
- ・河内地区福祉の村づくり 助成額 247,350 円
- ・川東地区社会福祉協議会 助成額 302,650 円

○本所(9 地区)

- ・宮芝・町西福祉の会 助成額 239,400 円
- ・久世まちなか社会福祉協議会 助成額 258,550 円

・ひまわり福祉の会	助成額	173,700円
・遷喬東地区社会福祉協議会	助成額	216,000円
・川南地区社会福祉協議会	助成額	251,900円
・草加部地区社会福祉協議会	助成額	152,450円
・米来地区社会福祉協議会	助成額	268,350円
・檜邑地区社会福祉協議会	助成額	91,800円
・余野地区社会福祉協議会	助成額	73,600円

○勝山支所(5地区)

・勝山地区社会福祉協議会	助成額	325,600円
・川西地区社会福祉協議会	助成額	270,000円
・城北地区社会福祉協議会	助成額	96,000円
・月田地区コミュニティ協議会	助成額	252,400円
・富原地区高齢者福祉のむらづくり推進委員会	助成額	237,000円

○美甘支所(1地区)

・美甘地区地域福祉推進委員会	助成額	252,950円
----------------	-----	----------

○湯原支所(4地区)

・湯原東地区社協	助成額	248,750円
・湯原南地区社協	助成額	149,400円
・湯原西地区社協	助成額	119,400円
・二川ふれあい地域づくり委員会	助成額	155,600円

○中和支所(1地区)

・中和地区社協	助成額	130,000円
---------	-----	----------

○八束支所(1地区)

・八束地区社協	助成額	394,000円
---------	-----	----------

○川上支所(1地区)

・川上地区社協	助成額	307,550円
---------	-----	----------

イ ふれあい・いきいきサロンの推進

【目標】

身近な地域で気軽に参加でき、「豊かに暮らせる福祉コミュニティ」づくりを目的としてサロンの未設置地区への普及促進を図ります。また、現行のサロンが継続できるよう、メニュー提供やサロンの集い等を開催し情報交換の場を設けるなど活動を支援します。

社協職員がサロンに積極的に出向き、地域住民のサロン推進への関わりや地域福祉活動への理解を進めます。

また、未設置地区においては、出前サロンを行い、サロン設置を推進します。

【実績】

「ふれあい・いきいきサロン」の設置推進と活動助成

活動助成金 4,441,350 円(歳末助成 613,400 円含む)(前年度対比△159,600 円)

地区別設置数 194 サロン(前年度対比△2 サロン) (サロン数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	全域
26	39	29	47	7	15	3	14	13	1

「おためしサロン」の開催等、サロンの普及啓発活動を実施しました。

ウ 福祉委員活動の充実

【目標】

身近な地域の見守り、アンテナ役として役割が浸透するように、福祉委員研修会や住民座談会等で具体的な役割の提示をします。各種資料を活用した福祉委員研修会の開催、開催目標年 2 回以上(各支所)活動活性化のため、福祉委員組織の必要性や選任方法、任期等について協議・検討を行います。

【実績】

福祉委員研修会を市内 13 会場で開催し、「地域のアンテナ役!福祉委員さん!!」DVDの活用や「福祉委員の手引き」等で福祉委員の役割について説明しました。また、福祉委員活動の活性化について協議・検討を行い、報告書を作成しました。また、福祉委員の協力を得て、実際の活動を周知する等新たな取り組みを進めました。

福祉委員数計 858 名 研修等開催数計 18 回 (名、回)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
福祉委員数	98	241	136	143	53	83	13	56	35
研修等開催数	2	1	2	5	2	2	1	2	1

エ 見守りネットワークの構築

【目標】

福祉委員と民生委員児童委員をはじめ地域住民との連携・情報交換の場づくり、福祉情報等の提供を積極的に行います。住民座談会や助けあい会議を開催し、福祉委員や民生委員児童委員等との連携を強化します。救急医療情報キット設置や更新時による見守り活動の充実を推進します。地域の福祉課題を早期に発見し必要な支援に結び付けるため、地域助けあい事業による見守り活動の推進を行います。真庭市が行う見守りネットワーク事業に参加します。

【実績】

各地区社協単位に市内で 57 回座談会を開催し、地区社協、福祉委員、民生委員児童委員との連携や情報交換を行いました。また、救急医療情報キットの設置や更新を行いました。

開催回数 (回)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
10	9	9	9	7	5	1	1	6

オ 小地域福祉活動を支える人材の育成

【目標】

地域福祉活動の活性化や意識の高揚のために、研修会や意見交換会を開催します。地

域福祉推進委員会の開催。地域福祉推進委員代表者会議の開催。地域福祉活動担い手研修会の開催。

【実績】

(ア) 地域福祉推進委員会

【目標】

開催目標各支所 3 回以上

【実績】

地域福祉推進委員会 委員数計 89 名、開催計 25 回 (名、回)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
推進委員数	12	12	14	13	8	11	5	9	5
委員会回数	5	4	3	2	3	2	2	2	2

(イ) 地域福祉推進委員代表者会議

【目標】

開催目標年 3 回以上

【実績】

地域福祉推進委員代表者会議開催 2 回

日時 平成 29 年 6 月 27 日(火)

平成 29 年 11 月 2 日(木)

各地域での活動の現況報告、地域助けあい事業推進についての協議、情報交換等を行いました。また、福祉委員活動の活性化について意見交換等を行いました。

(ウ) 地域福祉活動担い手研修会の開催

【目標】

開催目標年 1 回

【実績】

地域福祉推進委員、地区社協関係者、福祉委員等を対象に研修会を開催しました。また、地域福祉活動の実践報告も併せて行いました。

演題 「地参・地笑の地域づくり」—「地域共生社会」の実現に向けて—

講師 小坂田稔氏 (美作大学生生活科学科社会福祉学科教授)

日時 平成 29 年 12 月 8 日 (金) 10 : 00 ~

場所 湯原保健福祉センター

② 当事者及び当事者組織の支援

市内で活動する福祉団体等の活動を自立に向けて支援します。また、当事者の相談や、社会参加、問題解決、自立等に向けて支援します。

ア 当事者の社会参加支援

【目標】

当事者の交流・社会参加を支援するため、真庭市や真庭地域自立支援協議会と連携して各種交流事業を開催するとともに情報提供を行います。

【実績】

第 6 回真庭地域ふれあいスポーツフェスティバルの開催にあたり、実行委員会委員として出席し、また後援団体として協働しました。

イ 各種当事者組織の自主運営に向けた、活動支援及び組織化

【目標】

- (ア) 当事者組織の自主運営に向けて、真庭市及び各団体と活動内容を協議しながら活動支援を行います。また、市補助金の見直しに係る適正化についても各団体と適正な支出に向けた検討を行います。
- (イ) 情報提供と会員相互の交流に向けた取り組み
 - a 真庭市老人クラブ連合会活動支援
 - b 真庭市身体障害者福祉協会活動支援
 - c 真庭市手をつなぐ親の会活動支援
 - d 真庭市遺族会連合会活動支援
- (ウ) 新たなニーズに対する当事者組織の立上げについて、関係機関等と協力し、支援を行います。

【実績】

市内で活動する福祉団体等の事務局を担当し、活動支援を行いました。また、真庭市の基本方針を受け、説明を行うとともに自主運営に向けた支援を行いました。

(ア) 真庭市老人クラブ連合会活動支援

【目標】

会員の目標 9,500 名。自立に向けた取り組み。

【実績】

会員数 8,324 名(前年対比△383 名) 市補助金 11,000,000 円

総会、役員会、社会福祉大会、老人クラブ大会、スポーツ大会、研修等。

(イ) 真庭市身体障害者福祉協会活動支援

【目標】

自立に向けた活動の支援。

【実績】

会員数 465 名(前年対比△166 名) 市補助金 1,300,000 円

総会、役員会、社会福祉大会、スポーツ大会、研修会、福祉展等。

(ウ) 真庭市手をつなぐ親の会活動支援

【目標】

情報提供と会員相互の交流に向けた取り組み。自立に向けた活動の支援。

【実績】

会員数 91 名(前年対比△2 名) 市補助金 250,000 円

総会、役員会、県大会、研修交流会等。

(エ) 真庭市遺族会連合会活動支援

【目標】

遺族会の活動が円滑にできるよう支援。

【実績】

会員数 1,073 名(前年対比△51 名) 市補助金 1,179,000 円

総会、役員会、県代表者大会等。

ウ 当事者組織との協働活動の推進

【目標】

就労支援事業所・作業所へ必要な情報を提供し、真庭地域自立支援協議会への参加に

より障がい者（児）支援を推進します。

社会福祉大会等において各作業所の製品等を展示・販売し、作業所の紹介を行います。

【実績】

真庭地域自立支援協議会へ参加し、情報交換や事業協力を行いました。「真庭福祉フェス」に参加し、真庭地域の社会資源紹介や各種福祉体験を行いました。

また、毎年開催している社会福祉大会では、コーナーを設け作業所で作られた物品の販売を行いました。

③ ボランティア活動者の育成支援

地域活動の中で見えてきたニーズをもとに、人材の発掘と育成を図ります。

ア ボランティア市民活動センター及びボランティアステーションの機能の強化

【目標】

ボランティア活動がしやすい環境を整え、ボランティア活動の活性化を目指します。

(ア) ボランティアコーディネート

(イ) ボランティア活動に関する情報収集と情報提供

(ウ) ボランティア保険の加入推進（掛金の一部助成）

(エ) 市内ボランティア団体、市民活動への活動支援（地域福祉活動団体への支援）

(オ) ボランティア活動の広報啓発

【実績】

(ア) ボランティアコーディネート

本所内に「ボランティア市民活動センター」を設置し、ボランティア活動のコーディネート、支所及び関係機関との連絡調整等を行いました。

地区別ボランティア相談件数 211 件（前年度対比 43 件） (件)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
5	36	35	28	2	61	10	3	6	25

市内ボランティアの組織化による交流促進及び活動の活性化支援、ボランティアの安全確保、市内ボランティア活動及び市民活動への助成

ボランティアステーションの機能強化。社協各支所内に「ボランティアステーション」を設置し、ボランティア登録を行い、ボランティア相談窓口を開設し、相談に応じました。

地区別ボランティア登録者数 1,117 名（前年度対比△266 名） (名)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
10	279	260	207	30	41	17	52	21	200

(イ) ボランティア活動に関する情報収集と情報提供

(ウ) ボランティア保険の加入促進（掛金の一部助成）

(エ) 市内ボランティア団体、市民活動への活動支援（地域福祉活動団体への支援）

各種福祉関係団体助成の実施

助成団体 13 団体 助成金 1,163,150 円（前年度対比△79,850 円）

・北房更生保護女性会	助成額	44,000 円
・落合ヘルスボランティア連絡協議会	助成額	118,000 円
・手作りおもちゃボランティア「チャチャ」	助成額	29,000 円
・あじさいの会	助成額	50,000 円
・月田ボランティアグループ	助成額	143,000 円

・富原福祉のむらづくりボランティアグループ	助成額	250,000円
・湯原ボランティアの会	助成額	51,950円
・子育て応援隊	助成額	109,000円
・蒜山認知症介護者の会	助成額	22,000円
・真庭市ボランティア連絡協議会	助成額	174,000円
・蒜山地区福祉運動会	助成額	28,000円
・どーなつの会	助成額	95,200円
・介護家族交流会「なごみ会」	助成額	49,000円

(オ) 社協だより等でボランティア活動の広報啓発を行いました。

イ 災害ボランティアセンターなどの災害緊急対応体制の整備

【目標】

(ア) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練等の実施と災害対応マニュアルの更新を行います

(イ) 真庭市と協定による、災害時の連携した支援体制の整備

【実績】

(ア) 災害対応マニュアルを更新し、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行うとともにマニュアルの活用を図りました。

また、県社協他の開催する「災害ボランティアセンター運営者研修」に参加し、災害時の対応に備えました。

(イ) 災害時の支援体制を構築するため、真庭市と連携し避難所等の状況やボランティアの役割について研修を行いました。

ウ ボランティアの養成・育成

【目標】

(ア) 夏のボランティア体験事業の開催

(イ) 災害ボランティア養成講座の開催

【実績】

(ア) 夏のボランティア体験事業 参加者数 257 人(前年度対比△6 人) (人)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
60	62	52	43		11	29		

事前研修及び事後研修は 6 か所で実施(北房・落合・久世・勝山・湯原・蒜山会場)

(イ) 災害ボランティア養成講座の開催

日時 平成 29 年 11 月 28 日(火) 13:30～ 久世公民館 26 名参加

平成 29 年 12 月 3 日(日) 10:00～ 湯原保健福祉センター 41 名参加

エ ボランティアネットワークの推進・活性化

【目標】

(ア) 市内ボランティア団体の連携・交流・情報交換

ボランティア交流会の開催 開催目標 2 回

ボランティア研修会の開催 開催目標 1 回

(イ) 真庭市ボランティア連絡協議会等の活動支援

ボランティアの活動が活性化するよう「社協だより」の活用やホームページ等で情

報を発信し、住民参加と理解を促進します。

(ウ) 関係機関と連携した活動の展開

【実績】

(ア) 支所単位に、研修会や情報交換会を実施しました。

- ・ボランティア研修・交流会 i n 蒜山
日時 平成 29 年 8 月 28 日(月) 10 : 00～
場所 真庭市蒜山振興局 参加者 92 名
- ・ボランティア交流会 i n 美甘
日時 平成 30 年 3 月 19 日(月) 10 : 00～
場所 真庭市美甘振興局 参加者 76 名

(イ) 真庭市ボランティア連絡協議会等の活動支援

ボランティア活動の活性化に向けて「社協だより」やホームページ等で情報発信を行いました。

(ウ) 地域と連携を図り、ボランティア団体等へ研修会等の情報提供を効果的に行いました。

④ 地域包括ケアシステムの構築

【目標】

地域の中で援助を必要とする人の福祉課題の早期発見・早期対応のための仕組みづくりに、地域包括ケアシステム構築を進める中心機関である地域包括支援センター等と連携、協働し取り組みます。また、小地域ケア会議の必要性について協議していきます。

【実績】

ア 地域包括支援センターと連携し、地域での見守りネットワーク活動等について協議を行いました。また、地域包括ケア会議研修会に参加し、社協の行う事業を周知するとともに、ケアシステム推進の一員として推進しました。

イ 小地域ケア会議の必要性について地域包括支援センターと協議を行い、当面は 1 市全体のケア会議 2 圏域ごとのケア会議 3 個別ケア会議 を行うこととなりました。

⑤ 新たな公共活動の開発・推進

【目標】

地域の課題解決を図るため、NPOや企業等との協働による新たな支援活動の開発に向けた検討を行います。

ふれあい・いきいきサロンでの移動販売拡充に向け、各サロンへの情報提供と活用に取り組めます。

【実績】

「地域助けあい事業」を推進し、定期的な見守り体制の構築を図りました。
住民参加による新たな地域福祉活動を支援しました。

- ・地域を拠点とした居場所づくり【コミュニティカフェ「みつがしわ」(八束)】
- ・地域で訪問活動や買い物支援【見守り・たすけあいネット「話したい(隊)」(湯原)】

(2) 個別支援活動の推進

① ニーズの早期発見・早期支援体制の確立

【目標】

社協職員による「アウトリーチ活動」を積極的に行うとともに、地区社協、民生委員児童委員、福祉委員や地域住民による見守り活動を基盤とし、地域ニーズの早期発見を行い、早期かつ適切な支援につなげていきます。

ア 困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりの推進

(ア) 地域助けあい事業による見守り、支援活動の推進

(イ) 助けあい会議で「助けあいマップ」作成による支援が必要な世帯の把握

(ウ) 見守りの連携強化

イ 福祉活動専門員による地域での「アウトリーチ活動」の推進と個別支援

ウ 全地区社協での住民座談会の開催

【実績】

ア 困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりに向け、地区社協座談会で福祉委員や民生委員等による見守り活動の必要性について説明と依頼を行い、「地域助けあい事業」を推進しました。

また、平成 29 年度までに全地区社協で助けあい会議を開催し、「助けあいマップ」を作成し、見守りネットワークづくりを進めました。

イ 福祉活動専門員により要援護世帯の訪問活動を行い、他職種と連携し、適切な福祉サービスの利用に繋げました。

ウ 地区社協での住民座談会の開催については P13 にて掲載しています。

② 在宅福祉活動

ア 高齢者支援の推進

【目標】

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の在宅での生活を支えるため、各種在宅福祉サービスを実施します。

(ア) 一人暮らし高齢者のつどい、配食サービス等

(イ) 福祉機器介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、声の広報

(ウ) 福祉移送サービス・高齢者等給食サービス事業[真庭市受託事業]

真庭市介護予防・日常生活支援総合事業(生活支援サービス事業)[真庭市受託事業]

(エ) お助け訪問事業 [真庭市受託事業]

【実績】

(ア)・歳末配食サービス

[実施支所] 勝山、美甘、中和、八束、川上

・歳末友愛訪問

[実施支所] 本所(久世地域)、落合

・歳末ひとり暮らしのつどい

[実施支所] 北房、本所(久世地域)、落合

- ・歳末世代間交流
[実施支所] 美甘、川上
- ・歳末外出サポート
[実施支所] 湯原
- ・コミュニティカフェ
[実施支所] 八束

(イ) エ 全般的支援の推進にて記載 (P21)

(ウ) 高齢者等給食サービス事業 [真庭市受託事業] <() は前年度対比>

支所名	配食数 (食)	金額 (円)
北房支所	1,833 (△296)	1,649,700 (△266,400)
勝山支所	1,738 (△647)	1,564,200 (△582,300)
湯原支所	2,081 (△323)	1,872,900 (△290,700)
中和支所	259 (52)	233,100 (46,800)
八束支所	1,419 (111)	1,277,100 (99,900)
川上支所	669 (△96)	602,100 (△86,400)
合 計	7,999 (△1,199)	7,199,100 (△1,079,100)

真庭市介護予防・日常生活支援総合事業

(生活支援サービス事業) [真庭市受託事業] <() は前年度対比>

支所名	配食数 (食)	金額 (円)
北房支所	414 (160)	372,600 (144,000)
勝山支所	130 (45)	117,000 (40,500)
湯原支所	256 (104)	230,400 (93,600)
中和支所	161 (41)	144,900 (36,900)
八束支所	143 (117)	128,700 (105,300)
川上支所	99 (27)	89,100 (24,300)
合 計	1,203 (494)	1,082,700 (444,600)

(エ) お助け訪問事業 [真庭市受託事業]

在宅福祉サービス 訪問介護事業に掲載 (P27)

イ 障がい者(児)支援の推進

【目標】

地域で自立した生活や社会参加が可能になるよう関係機関等と連携し、必要なサービスを提供します。

(ア) 福祉機器介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、声の広報

(イ) 福祉移送サービス [真庭市受託事業]

【実績】

(ア) 声の広報は、毎月の社協だよりや広報まにわの情報をボランティアの協力によりCDに録音し、音声でご自宅にお届けしました。利用者数 14 名 (前年度対比±0)

(イ) 福祉移送サービス [真庭市受託事業]

全移送車の有償運送車両表示シートを作成したため、本所は増額となりました。
また、北部地域は利用回数増及び長距離利用のため増額となりました。

〈() は前年度対比〉

支所名	事務件数	金額 (円)
本 所	—	270,942 (137,564)
北房支所	827 (△106)	3,983,359 (△439,520)
落合支所	207 (△69)	814,575 (△230,147)
勝山支所	104 (△1)	761,975 (10,959)
美甘支所	117 (50)	929,538 (417,848)
湯原支所	160 (48)	893,902 (340,175)
合 計	1,415 (△78)	7,654,291 (236,879)

ウ 子育て支援の推進

【目標】

地域住民や関係機関等と連携し、子育てサロンの設置や子育て支援ボランティアの支援を行うとともに、身近に相談できる関係づくりや情報提供に努めます。また、子育て支援団体間のネットワークづくりに取り組み、子育て世代を対象としたイベントを開催し、地域への理解を進めていきます。

【実績】

子育てサロンの育成支援と助成金の交付及び関係機関との連携を図りながら情報提供を行いました。サロン開催2か所(平成28年度実績2か所)

また、子育て支援団体との情報交換会を開催しました。

第1回 平成29年 8月 8日(火) 久世公民館

第2回 平成29年 9月14日(木) 久世公民館

第3回 平成29年12月25日(月) 久世公民館

エ 全般的支援の推進

【目標】

福祉機器介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、たすけあい号貸出事業、レクリエーション用具貸出等を実施し、在宅の高齢者、障がい者(児)及び住民の地域福祉活動を支援します。

老朽化した備品のメンテナンスや整備・更新を適宜行います。

【実績】

福祉器具介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、たすけあい号貸出事業により在宅介護者の支援及び福祉活動団体等の支援を行いました。

福祉機具・物品等の貸出実績

(件数)

貸出物品 車両	車いす	ベッド等 介護機器	福祉体験 学習用品	福祉車両	たすけあい号 マイクロバス	レクリエー ション用具	その他
貸出件数	188	97	62	138	114	107	44

③ 相談支援の実施

ア 相談窓口機能の充実

【目標】

相談援助の専門職として、的確、適切な対応に努めます。また、ふれあいサロンや地区社協活動等を活用し「ふくし巡回相談」に取り組み、住民が身近な場所で相談できるよう進めます。

ふくし巡回相談開催目標 161 回（市内全域）

【実績】

社協職員研修、事例検討会等、職場外研修への参加により、担当職員の資質向上に努め円滑で迅速な相談援助を実施しました。

ふくし巡回相談実施回数 82 回（市内全域）

イ 心配ごと相談所の開設[真庭市受託事業]**【目標】**

- (ア) 身近な総合相談窓口として、問題解決に向けて適切な相談援助を行います。
- (イ) 相談員の研修会を開催します。年 1 回

【実績】

事業費総額 950,000 円(前年度対比△1,103,602 円)(内受託収入 950,000 円)

地区別相談件数計 59 件(前年度対比△13 件) (件)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
1	10	19	5	4	6	0	3	1	10

相談所開設日等の周知(MIT、告知放送、社協だより等での周知)

ウ 生活福祉資金の貸付事業 [県社協受託事業]**【目標】**

民生委員等と連携し、利用者の生活指導や償還指導に努め、経済的自立と生活の安定を支援します。

貸付の対象とならない人への支援も関係機関等と連携をとりながら取り組みます。また、生活困窮者自立支援事業と連携・協働し、生活困窮世帯の自立支援に取り組みます。

【実績】

平成 29 年度新規貸し付け 0 件

平成 29 年度相談受付件数 11 件

事業費総額 3,057,991 円(前年度対比△12,370 円)(内受託収入 555,950 円)

平成 29 年度未現在貸付件数 9 件(前年度対比△2 件) (貸付件数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
1	3	2	1	0	0	0	1	1

エ 日常生活自立支援事業 [県社協受託事業]**【目標】**

行政等の関係機関と連携し、利用者の権利を守る事業として適切なサービスの提供に努めます。今後利用者の増加が見込まれることを踏まえ、幅広く市民に権利擁護に関する情報を提供し、その必要性を周知していきます。

生活支援員研修会の開催。関係部署と情報共有を図り、利用者の地域支援に取り組みます。県社協が主催する研修会や連絡会等に参加し、専門性の向上や地域との連携に努めます。

【実績】

実利用者数(平成 29 年度末 契約者数)31 件(前年度対比△1 件)

平成 29 年度相談援助件数 1703 件

事業費総額 7,345,699 円(前年度対比 588,757 円)(内受託収入 2,951,600 円)
(件数、人)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
利用件数	1	12	9	4	3	2	0	0	0
生活支援員 (実動数)	1	7	7	3	2	2	0	0	0

- ・日常生活自立支援事業生活支援員研修会
平成 29 年 6 月 6 日(火) 津山市総合福祉会館
- ・日常生活自立支援事業生活支援員研修会・情報交換会
平成 29 年 12 月 13 日(水) 久世公民館
- ・権利擁護フォーラム(県社協主催)
平成 29 年 7 月 31 日(月) 岡山きらめきプラザ
- ・平成 29 年度市町村社協「日援事業あり方検討会」
平成 29 年 12 月 19 日(火)～平成 30 年 2 月 2 日(金) 全 3 回
- ・成年後見制度情報交換会出席(年 4 回開催)
成年後見人制度の啓発促進に向け、地域包括支援センターや関係機関との情報交換や連絡会議の定期開催に参加しました。

(3) 地域福祉推進のための環境整備の推進

① 福祉教育の推進

ア 児童・生徒へ福祉教育の推進

【目標】

出前福祉講座の実施や地域型福祉学習事業助成等により、思いやりの心を持った人材育成に取り組みます。

【実績】

(ア) 地域型福祉学習指定校数 合計 27 校(前年度対比±0 校)

助成総額 544,056 円(前年度対比△10,132 円) (学校数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
4	6	5	5	1	3	1	1	1

小学校 22 校 中学校 4 校 高等学校 1 校

(イ) 学校福祉体験支援 支援回数 26 回

車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、手話体験講座、ボランティア講座
点字体験講座、当事者の講話等の支援を実施しました。(回)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
10	5	8	2	0	1	0	0	0

イ 地域住民、医療・福祉関係者等専門職へ福祉教育の推進

【目標】

各種講演会や研修会・地区社協活動推進等により地域住民の福祉に対する理解と関心を深めます。また、専門職の地域福祉や小地域福祉活動への理解を進めます。

【実績】

各地区社協で住民座談会を実施し、地域福祉活動の周知、啓発を行いました。(全 57 回)
地域福祉活動担い手研修会を実施し、地域福祉活動の周知、啓発し理解を深めました。
社会福祉大会の開催や、地域ケア会議等で社協活動の周知、啓発を行いました。

② 広報啓発活動の推進

【目標】

社協活動が十分に周知できるよう広報活動を組織的・計画的に実施。広報紙「社協だより」の内容充実、ホームページの更新、フェイスブックなど SNS の活用等、各広報手段の積極的な活用。広報委員会の活性化。広報委員会の開催目標 4 回(平成 28 年度実績 4 回) 社会福祉大会の開催。

【実績】

・社会福祉大会の開催

平成 29 年 11 月 25 日(土)12:00～ 勝山文化センター(参加者約 600 人)

第 1 部 式典

真庭市社会福祉協議会長表彰(個人 9 名、20 団体)

特別功労感謝状 1 名、社会福祉施設関係 3 名

優良社会福祉推進 5 名、20 団体

真庭市身体障害者福祉協議会長表彰

更正援護 2 名、1 団体、自立更正 1 名

真庭市老人クラブ連合会長表彰 個人 8 名、1 団体

第 2 部 記念上映

映画「ベトナムの風に吹かれて」(字幕版)

・広報委員会の開催

広報委員会を開催し、社協だよりの内容充実のため協議を行いました。また、社協事業の周知のため、ホームページの更新・社協パンフレットの作成・SNS(ツイッター)の開設やイメージキャラクターの募集を行いました。

第 1 回 平成 29 年 5 月 29 日(月) 久世公民館

第 2 回 平成 29 年 9 月 29 日(金) 久世公民館

第 3 回 平成 29 年 12 月 19 日(火) 久世公民館

第 4 回 平成 30 年 3 月 16 日(金) 久世公民館

・キャラクター選考委員会の実施

第 1 回 平成 29 年 9 月 29 日(金) 久世公民館

第 2 回 平成 29 年 2 月 2 日(金) 久世公民館

③ 調査・研究活動の推進

【目標】

福祉に対する地域ニーズを把握し、ニーズに即した福祉活動を展開できるよう調査研究を行います。

また、市内の生活困窮世帯の状況を把握するための調査を行います。

【実績】

地区社協、ふれあい・いきいきサロンでのふくし巡回相談や、地区社協の福祉座談会、助けあい会議において、ニーズの把握を行い、地域福祉活動の推進に活用しました。

④ 社会資源の活用・改善・開発

【目標】

アウトリーチ活動や住民座談会での地域課題解決に向け、市や関係機関への提言。社会資源把握や活用に向けた資源マップ（制度・サービス・支援事業所）作成に向け、地域住民や関係機関と協議を行います。

【実績】

アウトリーチ活動や座談会等で把握した地域課題の解決に向けて、地域ケア会議等を通じて、市内関係機関へ提言を行いました。

⑤ 住民の権利擁護の推進

【目標】

日常生活自立支援事業の啓発・利用促進。成年後見制度の啓発・利用促進。法人後見事業の実施。地域福祉推進における個人情報保護と地域で共有できる仕組みづくり。

【実績】

ア 各地区座談会や助けあい会議等で「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」の啓発・利用促進を図りました。

- ・地区社協（29地区）
- ・地域福祉推進委員代表者会議
- ・地域福祉推進委員会（5地区）
- ・真庭市民生委員児童委員会
- ・民生委員児童委員会（6支部）
- ・地域ケア会議（7か所）
- ・落合ケアスタッフ会議
- ・日常生活自立支援事業支援員研修会
- ・真庭市社協職員研修会（南北2か所）
- ・役職員研修会

イ 法人後見事業の実施

受任件数 3件 相談援助件数 10件

事業費総額 3,130,982円

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
利用者数	0	0	1	0	0	1	0	1	0
（後見）	0	0	1	0	0	1	0	1	0
（補佐）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援員 （実動数）	0	0	0	1	0	1	0	1	0

- ・法人後見運営委員会の開催
 - 第1回 平成29年 6月20日(火) 久世公民館
 - 第2回 平成29年 9月13日(水) 久世公民館
 - 第3回 平成29年11月 6日(月) 久世公民館
- ・法人後見支援員研修会・情報交換会
 - 平成29年12月10日(日) 久世公民館
- ・権利擁護フォーラム(県社協主催)
 - 平成29年 7月31日(月) 岡山きらめきプラザ
- ・成年後見制度情報交換会出席(年4回開催)
 - 成年後見人制度の啓発促進に向け、地域包括支援センターや関係機関との情報交換や連絡会議の定期開催に参加しました。

ウ 地域福祉推進における個人情報保護と地域で共有できる仕組みづくり
 地域助けあい事業で行う「助けあい会議」で、個人情報の保護や書類の管理等について説明するとともに、情報提供を依頼し、「情報保護」と「情報提供」について理解を深めました。

⑥ 評価体制の整備

【目標】

事業、年度評価の実施。事業評価のための評価シートの活用と、実施事業の効果・効率性の検討。

【実績】

年度別事業評価シートにより、各種地域福祉事業の評価を行いました。

3 在宅福祉サービス

(1) 訪問介護事業所(介護予防訪問介護事業所、障害者総合支援事業、介護予防訪問・お助け訪問〔真庭市受託事業〕を含む)

【目標】

利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、自立支援サービスに努め、利用者満足度100%を目指します。

ア 利用者個々のニーズにあった、適切なサービスを提供します

(ア) 年間研修計画及び個人目標により自己研磨・自己啓発に努めます。

(イ) 利用者理解と接遇力、コミュニケーションの向上を図ります。

(ウ) 同行援護資格を取得します。

イ 業務管理体制の強化により、適切なサービスを提供し、職員の一体化を目指します。

(ア) 職員間の連携を図りサービスの質の向上と維持に努めます。

(イ) 特定事業所加算を継続し、介護報酬の増額と業務の効率化を図ります。

ウ 多職種及び地域福祉部門と連携し、地域包括ケアの一員として積極的に寄与し、また医療知識の習得のため研修に積極的に参加します。

障害者総合支援（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）事業（ ）は前年度対比

事業所名	利用者負担（円）	事業報酬（円）	合計
訪問介護南事業所	110,700 (536)	11,789,976 (222,517)	11,900,676 (223,053)
訪問介護北事業所	35 (△519)	2,600,285 (△2,935,211)	2,600,320 (△2,935,730)
合 計	110,735 (17)	14,390,261 (△2,712,694)	14,500,996 (△2,712,677)

障害者総合支援（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）事業

月	訪問介護南事業所		訪問介護北事業所		合計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4月	256	250:15	91	80:30	347	330:45
5月	265	259:00	91	81:00	356	340:00
6月	267	261:00	93	81:30	360	342:30
7月	253	242:45	54	48:00	307	290:45
8月	219	216:30	54	47:30	273	264:00
9月	237	231:00	55	48:00	292	279:00
10月	238	242:15	72	59:30	310	301:45
11月	238	226:45	68	56:30	306	283:15
12月	227	222:45	61	51:30	288	274:15
1月	205	197:00	49	42:30	254	239:30
2月	223	212:45	47	40:00	270	252:45
3月	244	237:45	66	51:30	310	289:15
合 計	2,872	2,799:45	801	688:00	3,673	3,487:45

お助け訪問事業 [真庭市受託事業]

（ ）は前年度対比

事業所名	訪問時間(基準額)	利用回数(回)	金額(円)
南事業所	20分以上 45分未満	6 (△26)	4,181,160 (1,175,240)
	45分以上	2,318 (674)	
北事業所	20分以上 45分未満	50 (35)	1,165,600 (470,500)
	45分以上	607 (233)	
合 計		2,981 (916)	5,346,760 (1,645,740)

(2) 訪問入浴介護事業(介護予防訪問入浴介護事業、障害者訪問入浴サービス事業 [真庭市受託事業]を含む)

【目標】

真庭市唯一の訪問入浴介護の事業所としての自覚を持ち、利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、在宅生活を支えます。また、安全・快適なサービスの提供を行い、信頼される事業所、利用者満足度100%を目指します。

ア 真庭市全域をカバーする組織運営

(ア) 親切、丁寧、即対応により利用者ニーズに応えます。

障害者（児）訪問入浴事業 [真庭市受託事業]

利用者延べ件数 73 件 (△120 件)

〈() は前年度対比〉

事業所名	利用者負担(円)	受託金(円)	合計
訪問入浴介護 南事業所	65,000 (17,500)	847,500 (△ 1,578,500)	912,500 (△1,561,000)

(3) 通所介護事業(介護予防通所介護事業を含む)

【目標】

利用者が可能な限り、自宅で自立した日常生活を送ることができるように、孤立感の解消と心身機能の維持向上、介護家族の負担の軽減を図ります。

ア 利用者の重度化への対応力向上と安全施業を目指します。

(ア) 安全・安心の送迎に対する職員教育を徹底します。

(イ) 車両・設備の安全点検を万全に行い、安全施業に徹します。

(ウ) 年間研修計画及び個人目標により自己研磨・自己啓発に努めます。

(エ) 認知症および重度化の利用者への対応能力を向上させます。

(オ) 地域密着型通所介護事業所として、地域の各ボランティア団体との連携を継続し、地域から信頼される事業所を目指します。

イ 生活機能の維持向上に向けたサービスを提供します。

楽しく、継続的なプログラムの実施をします。

ウ 口腔ケアを重点的に実施します。

【実績】

利用者実績年間延べ 3,495 人 1 日の利用者数は 11.92 人。前年度比 244 人の増で 1 日の利用者数は平均 11.92 人、前年度より 0.9 人増となりました。

ア 重度化・多様化する利用者様への対応について職員全体で検討し、より安全なサービス提供を実施しました。

(ア) 目に見えるサービスの基本として、送迎時の挨拶や安全運転について業務委託の運転手を含め事故防止に努めました。

(イ) 送迎時に使用する車両の点検及び車椅子や入浴に使用する用具が適正に使用できるか、日々確認を行いました。

(ウ) デイサービスとして、部門目標に基づいた個々の目標を設定し、振り返りを行いながら実践していきました。

(エ) 認知症や身体的重度の利用者へのサービス提供について、職員間で検討・実践研修を行い、対応力向上に努めました。

(オ) 地域住民との関わりや各団体との連携を大切にし、ボランティアの受け入れも積極的にを行い、利用者に喜んでいただけました。

イ 日常生活の中の動作を取り入れた体操や、マナー予防に新しいレクリエーションの創意工夫を行ったりしました。利用者自身の発語を増やすレクリエーションも増やしました。

ウ 全身に影響する口腔内の健康を保つため、誤嚥防止に昼食前の口腔体操を行い、食後の保清に義歯の洗浄やうがいを毎回実施しました。

通所介護（介護予防通所介護）事業

〈（ ）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合計
通所介護湯原事業所	4,896,309 (538,140)	22,846,581 (1,042,490)	27,742,890 (1,580,630)

通所介護（介護予防通所介護）事業 実人数平均 41 人 延べ実人数 3,495 人

通所介護湯原事業所

月	実人数	延べ人数	月	実人数	延べ人数
4月	42	296	10月	42	271
5月	43	314	11月	40	260
6月	42	305	12月	41	267
7月	44	314	1月	39	264
8月	44	322	2月	40	277
9月	45	288	3月	39	317
			合計	501 (平均 41.75)	3,495

(4) 短期入所生活介護事業（介護予防短期入所生活介護事業を含む）

【目標】

介護者の介護負担の軽減を図り、利用者が自立した日常生活が送れるよう適切なサービスを提供します。

ア 在宅で安定した生活ができるよう、生活習慣の習得や心身機能の維持向上につながるサービスの提供を行います。

イ 利用者理解と接遇力、コミュニケーションの向上を図ります。

ウ 他の事業所との連携を強化し、適切な個別対応を行います。

【実績】

平成 29 年度より利用定員が 10 人から 4 人になりました。前年度の空床日数は 579 日、今年度は 183 日でした。稼働実績 87.4%で、前年度より 3.3%上昇しました。

ア 利用者の生活歴や病歴を考慮し、身体状況に合わせたサービス提供を行い、心身機能の維持に努めました。

イ 入所時には、利用者本人、家族から様子が変わりがないか伺い、退所時には施設での様子を報告するよう努めました。

ウ 居宅介護支援事業所と連絡、報告、相談をこまめに行いました。また、歩行状況の良くない利用者の送迎には、回転昇降シート装備のヘルパー車を使用できるように訪問介護北事業所と連携し対応しました。

短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）事業 〈() は前年度対比〉

事業所名	利用者負担 (円)	介護報酬 (円)	合 計
短期入所生活介護事業所	3,864,459 (△4,511,543)	8,546,966 (△14,145,959)	12,411,425 (△18,657,502)

短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）事業

月	延べ人数	月	延べ人数
4月	85	10月	88
5月	94	11月	97
6月	79	12月	90
7月	82	1月	96
8月	87	2月	72
9月	83	3月	81
		合 計	1,034

(5) 地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ)

【目標】

ア 運営の基本方針

- (ア) 入所者の尊厳を守り、穏やかに楽しく生活できるサービスの提供を実施します。
- (イ) 地域密着型介護老人福祉施設として、地域住民の代表、利用者及び家族等による運営推進会議を開催し、地域住民の意見を運営に反映させていきます。
- (ウ) 運営推進委員を中心として、地域住民・ボランティアとの交流を推進します。

イ 組織管理

- (ア) 利用者本位の施設運営に心がけます。
- (イ) 協力病院、協力歯科医院との連携強化により入所者の健康維持を図ります。
- (ウ) 個人としてだけでなく、チームとしての介護技術の向上を目指します。
- (エ) 年間研修計画により認知症及び重度化に対応のできる職員の育成を行います。
- (オ) 運営推進会議等の意見を取り入れ、効率のよい運営方法を検討していきます。

ウ 安全管理及び防火管理

- (ア) 感染予防等各種職員研修を実施し、施設の健全管理に努めます。
- (イ) 腰痛予防を意識した介護方法の実践を行います。
- (ウ) 施設管理責任者を配置するとともに防火管理者を併せて配置し、防火設備点検等を行います。

【実績】

平成29年度より、利用定員が10人から16人になりました。入院や退所から新規入所決定までの日数等の空床日数は、前年度403日、今年度215日でした。入所者の健康管理・早期対応に努め、また、増床分も4月1日に全員入所できたことにより、利用率は96%で、前年比7.1%上昇しました。

ア 運営推進会議では、より良い施設運営に向けた意見を頂くことができました。

また、季節行事では、湯原ボランティアの会に協力を依頼し、入所者とのコミュニ

ケーション、車いす移動のお手伝い等をしていただきました。

イ 協力病院、協力歯科医院に定期的に回診、検診をしていただきました。入所者の精神的支えにもなっています。また、認知症の外部研修「認知症介護実践者研修(全日程6日)」に参加した職員が、持ち帰り内部研修を行いました。

ウ 感染予防の職員研修を年2回、また、火災想定の通報、避難、消火訓練を年2回行いました。

地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ)

〈()は前年度対比〉

事業所名	利用者負担 (円)	介護報酬 (円)	合計
特別養護老人ホーム 「やすらぎ」	14,945,706 (6,910,893)	46,123,457 (18,337,521)	61,069,163 (25,248,414)

地域密着型介護老人福祉施設利用者数(特別養護老人ホームやすらぎ)

月	延べ人数	月	延べ人数
4月	455	10月	465
5月	496	11月	445
6月	436	12月	496
7月	458	1月	481
8月	472	2月	433
9月	479	3月	490
		合計	5,606

(6) 居宅介護支援事業、(介護予防支援事業[真庭市受託事業]を含む)

【目標】

介護保険の認定を受けた利用者が、可能な限り自宅で自立して日常生活を送ることができるよう、多職種と連携しながら、最適な支援計画を作成します。

ア 年間研修計画及び個人目標により自己研磨・自己啓発に努めます。

イ 利用者理解と接遇力、相談援助技術の向上を図ります。

ウ 地域包括ケアにおいて積極的に役割を推進します。

エ 特定事業所加算の算定用件の追加となった介護支援専門員実務研修の受入れに関するマニュアルを作成します。

【実績】

ア 年間研修計画や個人目標に基づいて各種研修会へ参加し、各自の知識向上・研鑽に努めました。

イ 利用者及び家族の話を傾聴し寄り添い、その望む生活の実現のために、相談や助言を行い、迅速で適切なサービスの提供や対応に努めました。

ウ 各地域ケア会議へ参加し、地域のニーズの発見や情報収集に努めました。

エ 市社協ケアマネ定例会で検討し実務実習マニュアルを作成し、南事業所2人・北事業所4人の実習生を受け入れました。

居宅介護支援事業

〈上段居宅介護支援事業 下段介護予防マネジメント（ ）は前年度対比〉

事業所名	作成件数	居宅介護料（円）
居宅介護支援南事業所	1,008(△226)	14,652,640(△3,040,400)
	53(△10)	222,690(△40,440)
居宅介護支援北事業所	1,141(29)	18,100,960(142,140)
	44(0)	173,280(0)
合 計	2,149(△197)	32,753,600(△2,898,260)
	97(△10)	395,970(△40,440)

介護支援専門員 南事業所3名 北事業所3名

(7) 障害者(児)移動介助事業[真庭市受託事業]

【目標】

歩行や車いすの介助、代読や代筆などのコミュニケーション支援などを通じて障がいのある人の自立と積極的な社会参加を促進します。

ア 移動介助従事者の研修受講と資格取得者の育成を行います。

イ 関係機関と連携し適切なプランに基づく支援を行います。

【実績】

ア 同行援護資格を4名が取得しました。

イ 地域支援センター等と連携し、適切なサービス提供に努めました。

障害者(児)移動介助事業 〈()は前年度対比〉

利用件数 南事業所 284件(209件) 北事業所 24件(24件)

事業所名	利用者負担金(円)	受託金(円)	合 計
南事業所	11,160 (△5,030)	1,127,950 (853,590)	1,139,110 (848,560)
北事業所	0 (0)	96,000 (96,000)	96,000 (96,000)
合 計	11,160 (△5,030)	1,223,950 (949,590)	1,235,110 (944,560)

(8) 介護予防デイサービス事業・元気はつらつデイサービス事業[真庭市受託事業]

【目標】

高齢者に外出の機会を提供し、孤立感の解消ができるよう支援します。

ア グループ活動による楽しい交流の場を提供します。

イ 介護予防のための運動機能訓練を楽しく、機能が維持できるプログラムの工夫をします。

【実績】

ア 元気はつらつデイサービス事業と平成30年1月からささえあいデイサービスを実施しました。

イ メニューを工夫し利用者増に努めましたが、6か月間利用後に概ね卒業となり、3か月経過後の再利用が少なかったことなど、減額となりました。

元気はつらつデイサービス事業

利用者延べ回数 3,098回 (△2,892回) <()は前年度対比>

支所名	利用者延べ回数	金額 (円)
北房支所	1,211 (△467)	3,984,190 (△1,536,430)
久世支所	0 (△1,682)	0 (△5,533,780)
湯原支所	57 (△123)	187,530 (△404,670)
中和支所	291 (△124)	957,390 (△407,960)
八束支所	1,032 (△74)	3,395,280 (△243,460)
川上支所	507 (△422)	1,668,030 (△1,388,380)
合 計	3,098 (△2,892)	10,192,420 (△9,514,680)

ささえあいデイサービス (平成30年1月より開始)

利用者延べ回数 101回

支所名	利用者延べ回数	利用者負担金	助成金額 (円)
北房支所	75	75,000	37,500
中和支所	4	4,400	2,000
八束支所	9	9,900	4,500
川上支所	13	14,300	6,500
合 計	101	103,600	50,500

(9) 生活支援短期宿泊事業[真庭市受託事業]

【目標】

地域包括支援センターとの連携を図り、利用者の要望に応えられるプランにより、在宅での生活習慣の改善となるよう生活習慣と体調の管理調整を行います。

【実績】

利用者 1人

生活支援短期宿泊事業

<()は前年度対比>

事業所名	人数	利用日数	金額 (円)
短期入所生活介護事業所 (特養やすらぎ)	1 (1)	4 (4)	25,800 (25,800)

(10) 介護事業者として利用者への満足度調査の実施

【目標】

訪問介護・訪問入浴介護・通所介護利用者へアンケート調査を実施し、サービスの改善に取り組みます。

【実績】

アンケート調査項目、調査方法等について検討しました。

4 施設運営事業

(1) 指定管理施設(湯原、中和、八束、川上地域)

【目標】

福祉施設機能の充実と利用者の拡大を図り、地域に開かれた施設として役割の向上を目指します。

【実績】

事業の効率化を図りながら、地域に親しまれるよう施設運営を行いました。